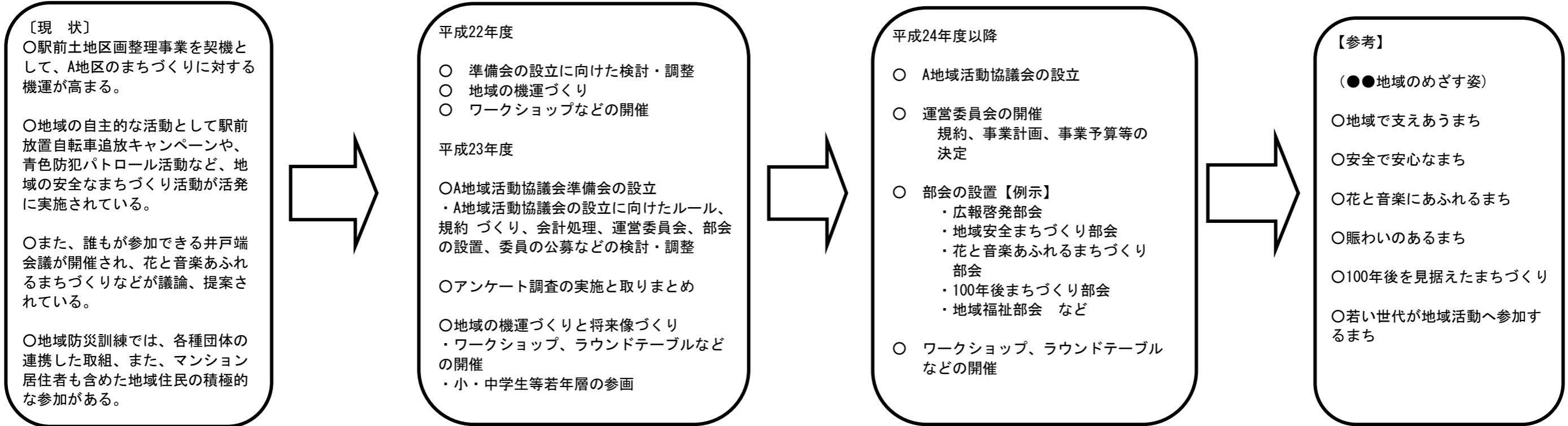


A地域における(仮称)地域活動協議会の形成に向けた取組工程表のイメージ(実際の検討例)



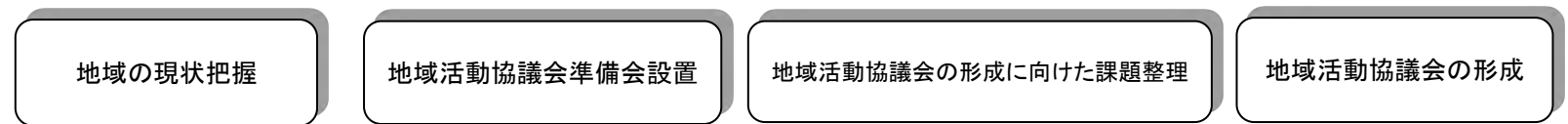
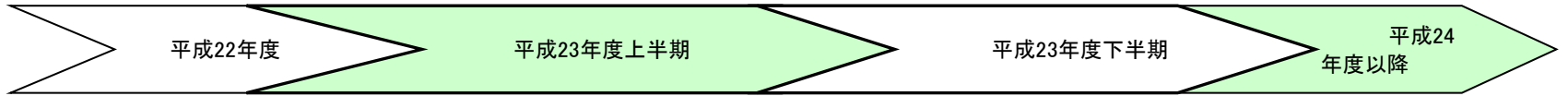
	H23. 1~3	H23. 4~6	H23. 7~9	H23. 10~12	H24. 1~3	H24. 4~
準備会の立ち上げに向けた検討・調整	←→					
準備会設置規定等の検討	←→					
機運づくりに向けた取組	←→					
ワークショップなどの開催	←→					
準備会の立ち上げ、開催		←→	★	★	★	
名称、設置規定等の検討			←→	←→	←→	
運営委員会、部会の設置検討			←→	←→	←→	
アンケート調査の実施と取りまとめ			←→	←→	←→	
ラウンドテーブルやワークショップの開催		←→	←→	←→	←→	
地域の将来像づくり			←→	←→	←→	
地域活動ウォッチング			←→	←→	←→	
広報啓発活動		←→	←→	←→	←→	
A地域活動協議会の設置・運営						★ ←→
部会の設置・運営						←→
ラウンドテーブル及びワークショップの開催						←→
ホームページ等による情報提供						←→

【区役所の動き】

・ 検討会への出席と先例事例地などの情報提供
 ・ 機運づくりに向けた広報啓発支援

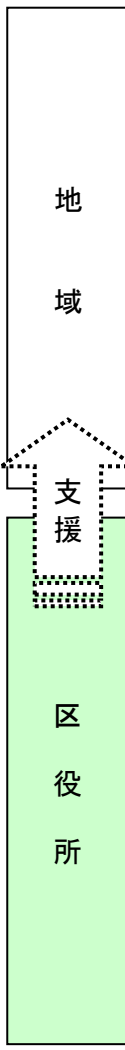
・ 準備会への出席、各種情報提供(アドバイス、コーディネート)
 ・ ワークショップ、ウォッチングなどの取組に対する支援
 ・ アンケート調査の実施と取りまとめ
 ・ 運営助成

B地域における(仮称)地域活動協議会の形成に向けた取組工程表のイメージ (実際の検討例)



現状

- ・地域振興会が中心となり、各団体と連携しながら、各種団体や行事(イベント)などの地域活動に積極的に取り組んでいる。
- ・ただし、地域活動の主眼的な立場である担い手が特定化している、地域活動に対する周囲の理解が低い、連携する団体が固定化されているなどの課題が見受けられる。
- ・また、地域の商店街では、いわゆるシャッター商店街となりつつあること、同じ連合でありながら、幹線道路で地域が分かれており、交流促進の際に課題となる。
- ・一方、スポーツイベントを通じて区を元気にすることを目的に、商店街を中心に地域住民で構成した実行委員会を設置し、地域参加型のスポーツイベントを実施している。
- ・地域振興会を中心に、地域社会福祉協議会や、各種団体、商店街の取り組みを繋げていくための仕組みづくりが必要となっている。



【連携・協働の取り組み】
 ・各種会合
 ・各種事業・イベント
 ・地域団体等と商店街よる事業実施

【情報・課題共有(2)】
 地域活動協議会準備会に向け
 ・ラウンドテーブル

【情報・課題共有(1)】
 ・勉強会の開催

【地域の現状把握】
 ・地域の会合・行事の参加
 ・地域カルテの作成

【担い手の把握】
 ・シニア層へのアンケート調査
 ・企業アンケート調査

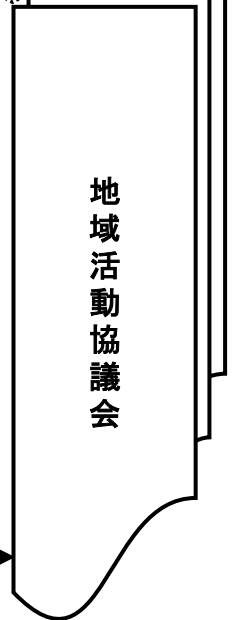
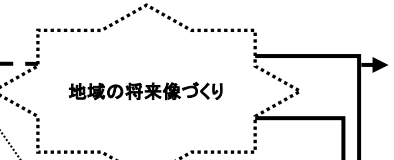
【地域活動の情報発信】 区役所ホームページによる地域活動状況の発信

☆地域活動協議会準備会

【情報・課題共有(4)】
 ・●●連合・▲▲連合・
 ■■連合 意見交換
 (地域間)

【情報・課題共有(3)】
 地域活動協議会に向け
 ・ワークショップ・ラウンドテーブル

【地域住民への意見聴取】
 地域の将来像・地域活動協議会に関して
 ・地域住民の意識調査アンケート調査・分析



C地域における(仮称)地域活動協議会の形成にむけた取組工程表のイメージ (実際の検討例)

年次別の具体的取組



現状

めざす姿

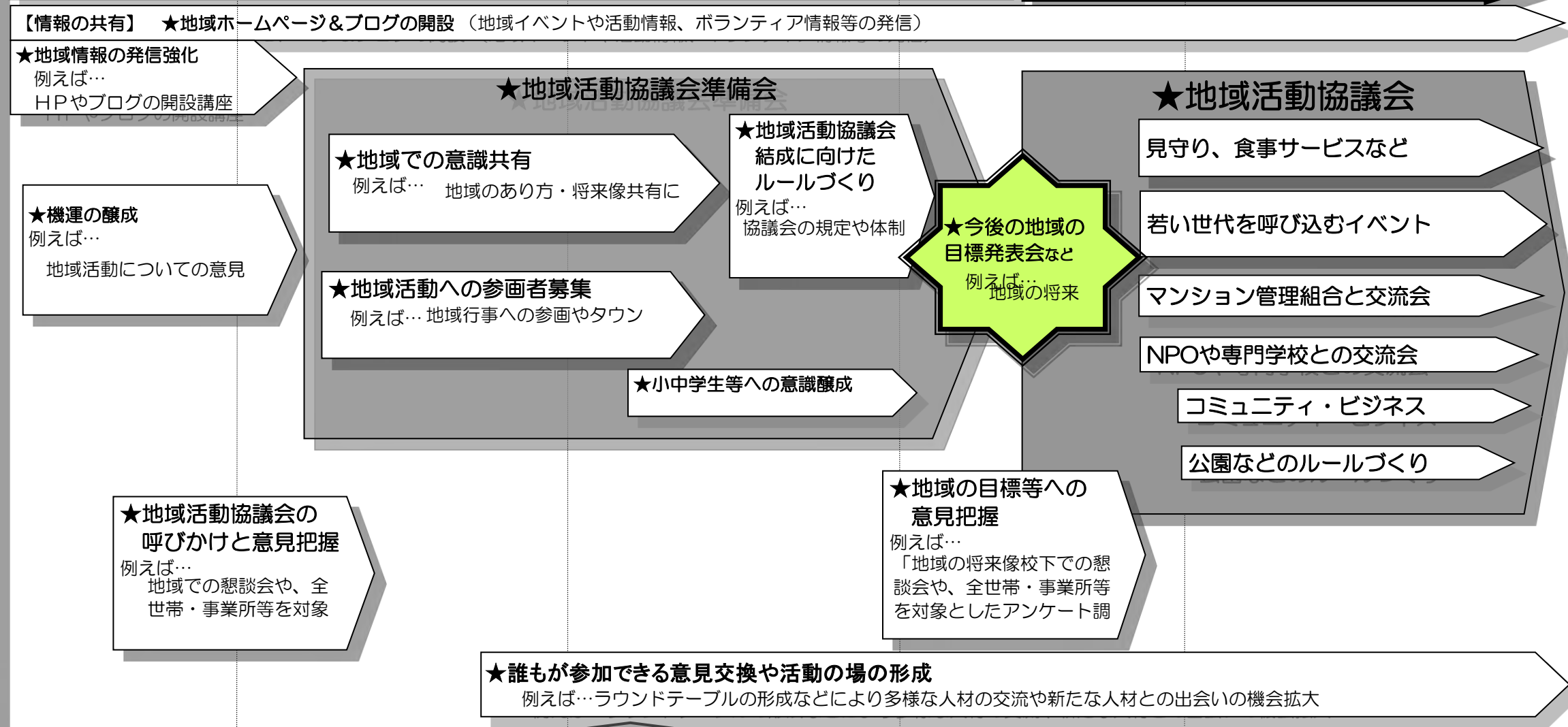
地域の姿

- ・昔ながらのコミュニティが息づく地域であり、地域役員が中心となりさまざまな活動が展開されている。
- ・地域振興会と地区社会福祉協議会をはじめとする各種団体、商店街、学校関係等が一同に会して活動報告会が毎月開催されるなど、情報共有の場をもっている。
- ・役員を中心に活発に行われているものの、役員の固定化による高齢化が進み、後継者の育成が課題となっている。
- ・また、しっかりとした地域コミュニティが古くから形成されている反面、コミュニティ意識の希薄化や、新たな住民・企業等がそのコミュニティ活動に参画する機会がすくなく、後継者不足や活動の担い手不足の要因のひとつとなっている。
- ・活動の担い手不足や行政の縦割りによる各種会議や事業などにより、複数の役職を兼務する役員は、同様の会合に出席することが負担となっている。
- ・地域に新しくマンション

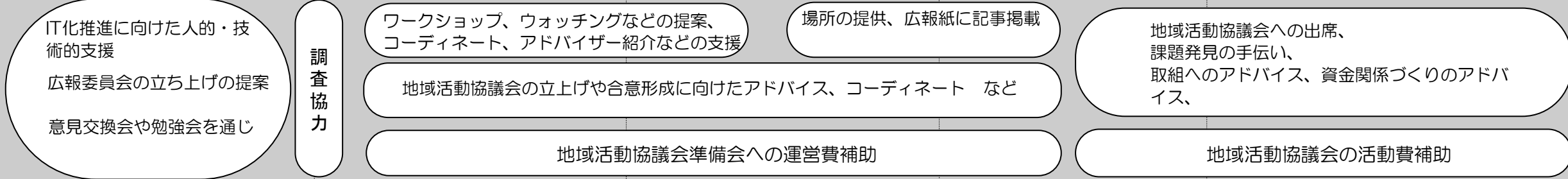
B 地域での取組

- 平成22年度:
 - ・地域団体の担い手がスキルアップを図る。
 - ・地域団体の活動情報への興味が高まる
 - ・活動の交流が生まれ、地域活動が洗練される。
- 平成23年度:
 - ・各種団体の課題や状況を共有化し、垣根を越え連携できる課題を発見する。
 - ・地域のさまざまな声を地域の皆さんが共有しだす。
 - ・新しい意識を持つ人が現れる。
 - ・地域の人たちが自分のまちのよさや課題に気づき話し合いを進める。
 - ・課題解決に向けた新たな活動が生まれ始める。
 - ・ラウンドテーブルに若い世代が集まるなど、まちへの関心が高まる。
- 平成24年度以降:
 - ・誰もが参加できる地域活動の場を新たに設置し、活動の輪が広がる。
 - ・地域全体で、まちの将来像を共有する。
 - ・マンション管理組合、NPOなど、新たな人たちが協議会の輪に入ってくる。
 - ・若い世代が多く活動に参加する。

- ・コミュニティがますます豊かになり、地域役員だけでなく、多くの人たちによってさまざまな地域活動が展開されている。
- ・地域振興会と地区社会福祉協議会などの地域団体、商店街、学校関係等に加え、マンション管理組合、NPO、地域の福祉施設、地域の企業などが地域の総意をつくり、まちの将来像の実現めざして、課題解決に取り組んでいる。
- ・人材発掘を行ない、多数の現役世代、若い世代も、時間と労力を少しずつ出し合いながら、地域活動協議会の取組みに参加している。
- ・マンション住人を含む新たな住民がコミュニティに参画し、地域活動協議会の取組みに参加している。
- ・数多くの地域の担い手が、得意な役割を分担しながら、助け合い、支えあい、ひとりひとりの負担は少しにどまっている。
- ・まちが活性化し、高齢者、子ども、障害者を含む全ての人たちが、地域で安心・安全に暮らしている。



区役所の支援



区役所組の主な取組

- 勉強会への参加
- 体制整備
- 他都市事例の研究
- 進捗状況の整理・分析
- 情報発信等側面支援
- コーディネート力の向上
- 地域の目標等への意見把握アンケート
- コミュニティビジネスの研究
- 職員の地域活動への参画
- 国や民間の補助金情報収集

地域力の復興のための新しい市役所のかたち

市長

地域力復興PT

